



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2112号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2175回例会

2017.8.31晴

司 会

柴崎恵子君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 赤池克斗君

会長挨拶

会長 西本和夫君

暑い8月も今日までです。年々、月日の過ぎるのが早くなっていきます。ある学者の説では加齢で脳細胞の退化が進み記憶力が悪くなるのだそうで日々の事を覚えていることが少なくなるので月日が高速になってしまうようです。良い事は忘れて悪い事や嫌な事は忘れない人が多いみたいです。

8月27日に社会奉仕セミナーに千葉社会奉仕委員長と出席してきました。今期の社会奉仕のテーマは「清掃」で開催されました。講演は作家の荒川祐二氏でした。新宿駅でたった一人で始めたゴミ拾いの話を聞いてきました。活動報告では沼津柿田川RCの前田守会長による「柿田川湧水清掃保全事業」と市川大門RCの奉仕プロジェクト委員会の石原一元担当理事による「神明の花火大会における美化運動推進啓発活動」を聞きました。17名、16名と小人数のクラブの報告でしたが柿田川湧水公園の清掃保全活動では第2580地区米山奨学委員会の協力を得て行ったそうです。市川大門RCは花火大会の時にロータリーの名前の載ったゴミ袋を配ったそうで両方とも動画にての説明で分かりやすい報告でした。また松村ガバナーの会社では年1回、バス数台で富士山の放置ゴミを中心に清掃活動を行っているそうです。参加者の多くから毎年参加希望が有る様で終わった後の爽快感がたまらなく良いとの事です。

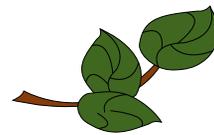
8月は社会奉仕委員会にたくさんの行事をお願いしました。献血運動、静岡県献血推進大会での表彰、社会奉仕セミナー。また三島大社の例祭にも参列していただきました。

千葉委員長には大変お世話になりました。9月からはエンドポリオのPR活動と募金活動、10月には見晴フェスティバル参加と続きます。社会奉仕委員会の皆様には、これからの行事もよろしく願いいたします。エンドポリオ活動、見晴フェスティバルでは会員の皆様の協力が必要ですので重ねてお願いいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ プ	修 出 席 正 率
前々回	32/41	78.05%	36/41	87.80%
今回	34/41	82.93%	会員総数	45名

欠席者 窪田君、諏訪部(照)君、長田君、花房君、原君、森崎君、矢岸君



幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ①本日の卓話 矢野敏夫さん
(外部卓話で三島市議会議員 大石一太郎氏)
- ②三島青年会議所主催の公開講演会に当クラブの後援の件について
持ち回り理事会にて承認
- ③来週9月7日は例会会場が米山記念館

2017~2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー:変化をもたらす

おめでとう

会員誕生日 橋本君
入会記念日 野田君、遠藤(真)君
奥様誕生日 栗原君
結婚記念日 佐々木君

スマイルボックス

- ◆諏訪部(敏)君、先日テレビのアド街ック天国にみしまコロッケで出演しました。撮影時にはたくさんしゃべったのですが、放映されたら私のコメントは全部カットでした。
- ◆Gテーブル、去る24日にテーブル会を開催しました。残暑厳しい中、焼肉で大いに盛り上がりました。残金スマイルします。

卓話

地方議会の在り方と市議会を傍聴していただいて

三島市議 大石一太郎さん

議会は機能しているか

・2000年4月の「地方分権一括法」施行に伴い、中央集権から地方分権化の流れの中で、議会の決定と責任が重くなった。特に2006年の夕張市の財政破綻、不正な決算操作に対する議会の黙認、チェック機能の喪失は、当局責任と共に、議会責任と自治能力を問われる事となった。

・また近年各地の県会・市会における政務活動費の使途が問題となり、その内容から支出の明瞭性、妥当性、費用の多稼が指摘された。特に県や政令指定都市の政務活動費は金額も多く第2給与と言われ、使途・金額の在り方、見直し削減等が問われている。

(元兵庫県議野々村氏→富山市議14名→神戸市議橋本氏の辞職、政務活動費の使途不明、架空請求、カラ出張が原因で辞職に)

議員は日頃何をしているのか…

地方議員のイメージ(日経新聞2015年3月24日)は、何をしているのか判らない(56%)、いてもいなくても同じ(34%)、議員は専任(11%)より兼業が多い。

議会改革は進んでいるのか

市民報告会 813市中394市で実施(48.4%)
議員間討議 406市で実施(49.9%)
反問権 435市で実施(53.5%)
議決事件の追加 449市で実施(55.2%)
議事録公開 本会議 630市(77.9%)
委員会 240市(20.7%)

議会改革の究極は、誰もが無理なく議員になれる仕組みづくりであり、議会の質や議員の資質向上を図る事。

・議会基本条例制定への流れ

議会基本条例については、2006年5月、夕張と同じ北海道の栗山町で制定され、当時の3自治体から、年々条例化は進み、2016年5月31日現在736議会で制定している。県内は16市。当市の議会でも議会報告会にパワーポイントを利用したり、ワークショップ形式の導入などの工夫はされているが、参加者が特定化しつつあり、市民周知のレベルとは言い難い。また議会便りの発行等も、これをもって市民から多くの意見と周知を図ることは難しい。(市民認知度では、知らない25.5%、読んだことがない20.9%、毎回読む5.1%)

条例不要論の意見もあるが、全国的な取り組みの先進事例を見ても、当市の自己満足は通用しない。

・議会・議員に何を求めるか

一議員の常識が市民の非常識にならないために一

- 議員自らが判断する存在に
- 議会審議の透明化と市民への説明責任を果たす
- 議事追認機関から政策論争の議会に(追認なら議員は不要)
- 手続改革を進める(質問形式・質問制限・議長任期)
- 外部志向の強い議員に
- 研修を重ねる議員・族を目指す議員に
- 過去に拘らない議員に
- 議案及び政策立案能力とチェック能力を併せ持った議員に
- 議員は22名が平等、1期4年、市民福祉の為に何をなすべきか

・議会質問を聞く

政策実現の必要性

現状把握から課題認識へ、仮設・検証・提案から行動・成果へ
当局の「研究します」「検討します」はやる気なしの表現
議員質問を分けると3タイプに

- ①自己主張型…自己表明と議事録・議会便り向けの質問
 - ②課題・責任追及型…政治課題の責任追及・イニシアチブの掌握
 - ③政策提案型…市民ニーズに対し、解決のための施策・事業を提案し予算化・条例化を図る
- まちまちだが①②が多い。次回傍聴時は参考に。住民の立場で必要なのは、市民目線での福祉の向上、何より政策実現では! 議会・議員の動向にも関心を持って!

(週報担当:伊丹秀之)